

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-4-6	事務事業名 図書館資料管理システム(ホームページの拡充)	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	---------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 図書館ホームページをユニバーサルデザインに対応したコンテンツにリニューアルし、誰もが利用しやすいコンテンツを構築する。また、セキュリティの強化を図る。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 音声読み上げソフトを利用する高齢者や視覚障害者に対応する仕様変更や操作性の向上等を図書館で検討し、コンテンツ変更を民間業者へ委託する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 作成件数	活動指標の考え方(定義) コンテンツ変更に伴う作成したコンテンツの件数
	成果指標名 アクセス件数	成果指標の考え方(定義) ホームページへの市民のアクセス件数 月7万件×4ヵ月(12月開始)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	1,575	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源					1,575	
	所要人員(B)	人			0.10		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	2,408	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(作成件数)	千円	0	0	109.45	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	件			22	
		実績値	件			22	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	件			280,000		
	実績値	件			364,000		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	見やすいコンテンツになっている。個別事業のサイトが増え情報量が以前より増えた。検索サイトの充実を望む。(図書館ホームページのメール、カウンターなどへのご意見)
	国・都・他市・民間等における類似事業	23区、26市の公立図書館のうち、47自治体がホームページを開設。37自治体が資料予約を受け付け、34自治体で利用者が自己の利用者情報にアクセスできる。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 13-4-6	事務事業名 図書館資料管理システム(ホームページの拡充)	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	---------------------------------	--------------------

	項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績	<input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	操作性が向上。見やすい画面に変更。提供する情報量を増加。アクセス件数が1.3倍に増加した。
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	図書館に寄せられる利用者からのメールでは、インターネットを利用したサービスの充実を望む声が多い。トップページのメニューを増したり、操作性を充実させることは、高度情報化社会に対応するためには不可欠である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	ホームページの専門的知識を伴う作業は、専門業者がコンテンツを作成することにより、職員が作成に要する時間が減少し経費の削減となる。また、内容においても質の高いものとなった。
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	情報弱者も使えるコンテンツを作成したことにより、公平に情報が提供できる環境となっている。
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	コンテンツの変更に伴う利用者からの反応は良好である。今後も継続的に修正を行ない、高度情報化社会に適応していく必要がある。

17年度における改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の更新のスピード化を図る。そのため、組織内の調整を図り、担当者の業務時間を確保する。また、課内で事業の重要性を理解させるようにする。</li> <li>利用者から要望のあった未所蔵予約のシステム導入を9月から試行する。</li> </ul>
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成16年度、誰もが利用しやすいコンテンツを構築したことにより、利用者数が増加した。今後は現在の取組内容を継続して実施する。
--------	---	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
- 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
- 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
- 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
- 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
- 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。